

## 退職後の備えに重くのしかかる肥満の世界的まん延

### —ハートフォードのグレゴリー・ボイコ、多くの人が退職後準備を進める中、アジア・ソサエティーの聴衆を前に、体の健康と経済的な健全性の関係について語る—

2009年1月27日 ニューヨーク - ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービシズ・グループ・インク（以下「ハートフォード」）の上級役員によると、世界中で増加傾向にある肥満のまん延で各国に何百万人という太り過ぎの人達において、糖尿病、心臓疾患や癌などを発症する可能性が高まり、定年退職後の医療費負担が増すなど、長期的な影響を及ぼしています。

「簡単に言うと、世界人口の半分以上が貧困に苦しむ中、16億もの人が食べ過ぎで死んでいるという紛れもない事実が存在しています」とハートフォードの日本法人であるハートフォード生命保険株式会社社長、グレゴリー・ボイコは述べています。国際糖尿病連合（IDF）の報告によると、米国、ヨーロッパ、オーストラリアのみならず、メキシコ、エジプト、南アフリカといった開発途上国の人口の半分から3分の2が肥満や太り過ぎであり、肥満のまん延は世界中の重大関心事です。

1月26日（月）、企業幹部や政府高官など国内外から集まる聴衆を前に、ボイコはニューヨークシティのアジア・ソサエティーにて講演を行い、退職後の準備として、各人の経済的安定のためにより多くの資産を貯蓄するとともに、高齢になっても健康を維持する必要性を官民が協力して啓発するよう努めなければならないと述べました。

ハートフォードが実施したグローバル調査によると、45歳以上の年齢層における定年退職時の最大の経済的懸念は、食、住まい、医療などの基本的な生活資金の確保であることが明らかになりました。また、定年退職時に十分な備えがあるかという質問に対し、「ある程度不安である」から「非常に不安である」と答えた割合が米国で79%、英国は65%である一方、日本では87%にもものぼります。

「定年退職後に向けて貯蓄や投資を行い、長期的な経済的安定に各々が責任をもたなければならない、と考える人が世界中で増えています」とボイコは述べています。「不幸なことに、肥満によって出費がかさみ、定年退職後に備えた貯蓄が目減りするため、退職時の経済的安定を得ることが難しくなるのです」

肥満の人（身長、年齢、性別、体型を基にした理想体重より20%以上重い人、もしくはBMI値<肥満度指数>が30以上の人とされている）は心臓発作や特定の癌、脳卒中などのリスクが高まる、とハートフォード団体保険部門のバイス・プレジデントおよびナショナル・プラクティス・リーダーであるキャロル・ハーネットは警告します。実際に、特に年を重ねるごとに、これらのリスクによる費用はかさむと述べています。

イェール大学の食料政策と肥満に関するラドセンターによると、健康保険において米国の肥満成人の支払う医療費は、標準体重の成人の医療費に比べ32%高いとしています。

減量して総合的に健康改善することで、定年退職後の出費を抑え、寿命を延ばし、人生の質そのものを向上させることができる、とボイコは指摘しています。世界中の政府保健機関は、健

康改善に多大な効果を発揮する4つの要素、①喫煙をしない、②1日5皿の果物や野菜を取る、③週に5日最低30分の適度な運動をする、④BMI値を25未満に抑える、を明らかにしています。このうち1つでも改善することによって、人間の寿命は14年間で20%も延びると英国医学雑誌ブリティッシュ・メディカル・ジャーナルは報告しています。

世界でも最もスリムで健康な国民の1つであると広く認識されている日本では、高齢化が進み、公的医療費が急上昇する中、肥満のまん延に真剣に取り組んでいるとボイコは述べています。2008年に制定された法律では、2012年までに肥満人口を10%削減し、2015年までには25%削減することを目標とし、企業や地方自治体は、職員が一定の基準を満たさなければ罰金を徴収されることとなります。40歳～74歳(5,600万人)の成人を対象としており、男性であれば腹囲85センチ、女性は腹囲90センチ未満でなければなりません。

「長年にわたり日本に住み、働いた経験を持つ者として、日本人ほど健康でスリムな国民はそれほどいないというのが私の感想です」とボイコは述べています。「日本政府は、膨らむ胴回りを食い止めることが、高齢化一直線の社会で膨張し続ける医療費という、今日本が直面する最も深刻かつ政治的な問題を抑止すると判断したのです。なぜなら、日本は他国に比べ高齢者が多くとされており、私達が10年、20年後に経験するであろう問題に今現在直面しているのです。定年退職後に向けて懐を厚くしつつ胴回りはスリム化し、長くそして願わくは充実したセカンドライフに備える、ということを私達は教訓としなければなりません」とボイコは続けています。

「ハートフォード」について

フォーチュン100社の1社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービシズ・グループ・インクは、米国で最も由緒ある大手保険および金融サービス会社の1つであり、2007年における収入は約259億ドルに達しています。投資金融商品をはじめ、各種生命保険、団体年金、団体生命保険、自動車保険、住宅保険、法人向け損害保険などを提供しています。国際事業部門は、日本、英国、カナダ、ブラジル、アイルランドで事業を展開しています。ハートフォードに関する詳細な情報についてはウェブサイト ([www.thehartford.com](http://www.thehartford.com)) をご覧下さい。

以上